読み手の声に神経を集中

百人一首大会（三好丘小学校）

お正月の遊び、百人一首を通して和歌や日本の古典に親しんでもらおうと1月19日、三好丘小学校で百人一首大会が行われました。6年生161人が1チーム4人ずつに別れ、ほかのクラスのチームと対戦。読み手役の先生が句を読み上げると、かるたを取り合う生徒たちの歓声が体育館の中に響いていました。中には上の句を聞いただけでかるたを取る児童や、一人で数十枚も取った児童もみられ、レベルの高い大会になりました。

手作りみそを家庭の味に

みそ作り教室

地元産の大豆を使ってみそ作りを体験してもらおうと1月22日と2月2日、緑と花のセンター「さんさんの郷」でみそ作り教室が開かれました。さんさんくらぶの皆さんが主催するふれあい講座の一つとして毎年開かれるこの講座。参加者は麹（こうじ）と大豆を混ぜる工程などを熱心に教わっていました。三好下の安藤和枝（かずえ）さんは「前に作った手づくりみそ味が忘れられません。成熟して食べごろになる秋が楽しみです」と話していました。

さあいらっしゃい、いらっしゃい

お店屋さんごっこ(すみれ保育園)

買い物ごっこを通して、ほかの年齢の園児と交流してもらおうと1月27日、すみれ保育園でお店屋さんごっこが行われました。毎年恒例のこの行事には全園児69人が参加。年長園児が、おもちゃ屋などの店員になって「いらっしゃいませ」と元気に掛け声を上げ、活気あふれるお店屋を開いていました。年長園児の一人は「ぼくの作ったおもちゃの車が売れたよ。売るのも買うのもどっちも楽しいな」と笑顔を見せていました。

天高く舞い上がれ

新春たこ揚げ大会（東山幼稚園）

毎年恒例の東山幼稚園の新春たこ揚げ大会が1月19日、三好公園陸上競技場で行われました。たこは全園児約190人がビニール製の表面に、自分たちで好きな絵を思い思いに描いて作ったもの。この日はあいにく風の少ない天気でしたが、冬の晴れ渡った空の下で園児たちはたこを手に元気いっぱい駆け回っていました。橋本静治園長は「自分たちで作ったたこが実際に空に浮く喜びを実感してほしいですね」と目を細めていました。

子どももお母さんも仲良く交流

さくらんぼ教室

多胎妊婦と就園前の多胎児とその母親を対象とするさくらんぼ教室が1月20日、保健センターで行われました。多胎児を育てる母親たちの情報交換の場として気軽に参加してもらおうと年に6回開催されるこの教室。参加した母親たちは、互いに育児について尋ね合うなど交流を深めていました。三好丘旭の深田美帆さんは「入浴の方法など、ほかのお母さんたちはどうしてるのか聞けて参考になりました」と話していました。

食文化を通して国際交流

世界の食卓「韓国編」

食文化を通して国際交流の輪を広げてもらおうと1月23日、世界の食卓「韓国編」が緑と花のセンター「さんさんの郷」で行われました。参加者16人は、講師の李周遠さんの指導を受けて韓国の代表的な正月料理3品に挑戦。その後出来上がった料理を試食しながら、李さんから韓国の食文化などの話を熱心に聞いていました。参加した男性は「今度は家で妻と一緒に、教わった韓国料理を作ってみようと思います」と意欲的でした。